

それだから戦い方（戦略）が重要になり、お金では買うことのできない会社の質（文化）が勝負を分けると思うのです。

その質を高めるものが、「教育」だと私は思うのです！

レガシィの天野社長が、「最も安い経費はやる気のある社員の給料であり、最も高い経費はやる気のない社員の給料である」と言っていますが、まったくその通りではないでしょうか。

京丸園の川口農場長の大変身。安心サービスの樋屋さんの活躍。うみの塗装の小林君の成長は、すべて教育の賜物だと思います。

皆さん、CL や経営塾に参加して、人間が変わった気がします。

その3社を見ても、伸びている企業は、（私が知る限り）すべて経営者が教育を大切にしていると思うのです。

どうして「教育」の人気のないのか、皆さんの意見をお聞かせください！

杉井保之のひとこと

「教育はすべての業務に優先する」

所長先生にもオススメ！ 杉井保之氏の上記商品は10月発売予定です

「業績が上がる組織に変える教育法」 乞うご期待！

オリジン・コーポレーション
ホームページ <http://www.origin-co.com>

杉井保之

検索